



## 2021年12月期 第1四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2021年5月12日

上場取引所 東

上場会社名 サントリー食品インターナショナル株式会社  
 コード番号 2587 URL <https://www.suntory.co.jp/sbf/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 齋藤 和弘

問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員 経営企画本部長 (氏名) 三野 隆之 TEL 03-5579-1837

四半期報告書提出予定日 2021年5月13日 配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無：有

四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・証券アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年12月期第1四半期の連結業績（2021年1月1日～2021年3月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前四半期利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期第1四半期	269,791	△2.7	19,804	△0.2	19,532	△1.1	14,546	△7.0	10,668	△16.2	44,415	—
2020年12月期第1四半期	277,244	△3.0	19,843	11.6	19,757	13.0	15,642	17.8	12,726	18.8	△14,255	—

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
2021年12月期第1四半期	34.53	—
2020年12月期第1四半期	41.18	—

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2021年12月期第1四半期	1,628,175	891,906	806,237	49.5
2020年12月期	1,574,251	859,556	781,755	49.7

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 四半期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年12月期第1四半期	34,636	△13,570	△15,111	176,387
2020年12月期第1四半期	14,240	△16,583	△6,743	130,004

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年12月期	—	39.00	—	39.00	78.00
2021年12月期	—	—	—	—	—
2021年12月期（予想）	—	39.00	—	39.00	78.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2021年12月期の連結業績予想（2021年1月1日～2021年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,260,000	6.9	105,000	9.2	103,500	9.9	73,500	14.3	60,500	15.9	195.79

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年12月期1Q	309,000,000株	2020年12月期	309,000,000株
② 期末自己株式数	2021年12月期1Q	3株	2020年12月期	3株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年12月期1Q	308,999,997株	2020年12月期1Q	308,999,997株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績予想に関する記述は、当社及び当社グループが本資料の発表日現在で入手可能な情報から得られた判断に基づいていますが、リスクや不確実性を含んでいるため、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。実際の業績は、当社及び当社グループの事業を取り巻く経済情勢、市場動向、為替レート等に関わる様々な要因により、記述されている業績予想とは大幅に異なる可能性があることをご承知おき下さい。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	3
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 要約四半期連結財政状態計算書 .....	4
(2) 要約四半期連結損益計算書 .....	6
(3) 要約四半期連結包括利益計算書 .....	7
(4) 要約四半期連結持分変動計算書 .....	8
(5) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	9
(6) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	10
(継続企業の前提に関する注記) .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当社グループは、お客様の嗜好・ニーズを捉えた上質でユニークな商品を提案し、お客様の生活に豊かさをお届けするという考えのもと、ブランド強化や新規需要の創造に注力したほか、品質の向上に取り組みました。また、各エリアにおいて収益力の強化にも取り組みました。

昨年末からの新型コロナウイルス感染症（COVID-19）拡大を受け、各国において引き続き影響がみられる中、3月以降、日本・欧州を中心にロックダウン・営業自粛要請等の制限緩和が行われ、人の動きの戻りが顕著になりました。そのような外部環境にも後押しをされ、当社事業も順調に回復基調となり、当第1四半期は、想定を超える進捗を示しています。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間（2021年1月1日～3月31日）の連結売上収益は2,698億円（前年同期比2.7%減）、連結営業利益は198億円（前年同期比0.2%減）、親会社の所有者に帰属する四半期利益は107億円（前年同期比16.2%減）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりです。

なお、当社は、重点市場であるアジア・オセアニア地域での飛躍的成長を実現させるため、2021年1月1日付で組織変更を実施しました。これに伴い、従来、「日本事業」、「欧州事業」、「アジア事業」、「オセアニア事業」、「米州事業」としていた報告セグメントを、当第1四半期連結累計期間より「日本事業」、「アジアパシフィック事業」、「欧州事業」、「米州事業」に変更しました。前年同期とは、前第1四半期連結累計期間の数値を、変更後の報告セグメントの区分に組み替えた数値で比較しています。

#### [日本事業]

緊急事態宣言延長で人の動きが制限された影響等で、清涼飲料市場（当社推定）は前年同期を下回りました。当社販売数量も前年同期を下回りましたが、水・コーヒー・無糖茶カテゴリーを中心にコアブランド強化に取り組み、市場シェアを拡大しました。

「サントリー天然水」は、昨年3月の大容量ペットでの備蓄需要の反動減もあり、ブランド全体の販売数量は前年同期比微減となりましたが、「サントリー天然水 スパークリング」シリーズはイェナカ需要を取り込み大きく伸ばしました。「BOSS」は、ブランド全体では前年同期を下回りましたが、3月にリニューアルした「クラフトボス」は大きく伸ばしました。無糖茶カテゴリーでは、「伊右衛門」のリニューアル効果及び2月新発売の「伊右衛門 濃い味」の貢献もあり、ブランド全体の販売数量は前年同期を大きく上回りました。

収益面では、コスト削減活動、加えて販促広告費の効率化に取り組みましたが、販売数量の減少及びチャネルミックスの変化が引き続きマイナスに影響しました。

これらの結果、日本事業の売上収益は1,342億円（前年同期比8.6%減）、セグメント利益は40億円（前年同期比44.0%減）となりました。

#### [アジアパシフィック事業]

アジアでは、一部地域で新型コロナウイルス感染症（COVID-19）に伴う断続的な制限がありましたが、ベトナムの力強い成長が事業を牽引しました。コアブランドへの活動集中により、ベトナム及びタイの清涼飲料市場で当社グループのシェアを拡大しました。ブランド別には、ベトナムではエナジードリンク「Sting」、茶飲料「TEA+」が伸長、タイでは低糖製品を含め「Pepsi」が好調に推移しました。健康食品事業では、売上は前年同期を下回りましたが、主力の「BRAND'S Essence of Chicken」はマーケティング活動強化の効果もあり、販売トレンドは着実に戻ってきています。

オセアニアでは、大きく伸長するエナジーカテゴリーの中で、主力ブランドであるエナジードリンク「V」は市場を上回って伸ばしています。

収益面では、売上増や、販促広告費の効率化が寄与しました。

これらの結果、アジアパシフィック事業の売上収益は735億円（前年同期比8.9%増）、セグメント利益は127億円（前年同期比38.5%増）となりました。

## [欧州事業]

欧州では、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の影響を受けていますが、3月より、英国ではワクチン普及に伴い段階的な制限緩和が進んでいることに加え、スペインでは業務用の制限緩和が実施される等、人の動きが戻りつつあります。

フランスでは、堅調な家庭用市場及び3月の好天の影響が寄与しましたが、ロックダウン延長が大きく影響しており、「Orangina」及び「Oasis」の販売数量は前年同期を下回りました。「Schweppes」はブランド強化が奏功し前年同期並みとなりました。英国では、段階的な制限緩和に伴い、人の動きも戻り始めており、「Lucozade Energy」、「Lucozade Sport」ともに3月より回復基調にあります。スペインでは、家庭用は堅調に推移し、業務用も3月からの制限緩和の動きを受け、主力ブランド「Schweppes」も回復基調にあります。

収益面では、マーケティング費用の効率化が寄与したものの、売上減少の影響を受け、利益も減少しました。

これらの結果、欧州事業の売上収益は417億円（前年同期比5.3%減）、セグメント利益は40億円（前年同期比16.2%減）となりました。

## [米州事業]

主力炭酸ブランドの更なる販売強化に取り組むとともに、水やコーヒー飲料等、伸長している非炭酸カテゴリーにも注力しました。新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の影響は続いているものの、堅調な家庭用需要が牽引し、売上は前年同期を上回りました。

これらの結果、米州事業の売上収益は204億円（前年同期比7.4%増）、セグメント利益は20億円（前年同期比36.3%増）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は、現金及び現金同等物、棚卸資産、有形固定資産、無形資産の増加等により、前連結会計年度末に比べ539億円増加して1兆6,282億円となりました。

負債は、社債及び借入金、仕入債務及びその他の債務、その他の金融負債の増加等により前連結会計年度末に比べ216億円増加して7,363億円となりました。

資本合計は、その他の資本の構成要素の増加等により、前連結会計年度末に比べ323億円増加して8,919億円となりました。

## (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末に比べ89億円増加し、1,764億円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、仕入債務及びその他の債務の減少58億円、棚卸資産の増加54億円等があったものの、税引前四半期利益195億円、減価償却費及び償却費174億円、売上債権及びその他の債権の減少101億円等により、資金の収入は前年同四半期と比べ204億円増加し、346億円の収入となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産及び無形資産の取得による支出112億円等により、資金の支出は前年同四半期と比べ30億円減少し、136億円の支出となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、短期借入金及びコマーシャル・ペーパーの増加による収入が242億円減少したこと等により、資金の支出は前年同四半期と比べ84億円増加し、151億円の支出となりました。

## (4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年12月期の連結業績予想については、2021年2月9日に発表しました連結業績予想から変更ありません。新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の感染者数再拡大による、日本の緊急事態宣言再発令、フランスのロックダウン継続等、引き続き不確実性の高い状態は続いておりますが、日本を始めとした北半球は、これから夏最盛期に向かってまいります。事業のモーメンタムを着実に成果に結び付けてまいります。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年3月31日)
	百万円	百万円
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	167,480	176,387
売上債権及びその他の債権	196,242	190,230
その他の金融資産	717	837
棚卸資産	79,260	86,805
その他の流動資産	23,496	22,725
流動資産合計	467,198	476,986
非流動資産		
有形固定資産	360,358	376,753
使用権資産	50,772	52,227
のれん	250,448	254,744
無形資産	405,175	426,276
持分法で会計処理されている投資	895	955
その他の金融資産	14,513	15,407
繰延税金資産	15,465	16,370
その他の非流動資産	9,423	8,454
非流動資産合計	1,107,052	1,151,189
資産合計	1,574,251	1,628,175

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年3月31日)
	百万円	百万円
負債及び資本		
負債		
流動負債		
社債及び借入金	83,401	96,027
仕入債務及びその他の債務	308,381	317,673
その他の金融負債	33,542	37,171
未払法人所得税等	14,628	13,074
引当金	1,586	2,773
その他の流動負債	4,986	5,786
流動負債合計	446,526	472,505
非流動負債		
社債及び借入金	120,292	110,763
その他の金融負債	52,867	55,994
退職給付に係る負債	15,073	15,350
引当金	2,287	2,319
繰延税金負債	71,695	73,691
その他の非流動負債	5,952	5,645
非流動負債合計	268,168	263,763
負債合計	714,694	736,269
資本		
資本金	168,384	168,384
資本剰余金	182,414	182,450
利益剰余金	492,451	491,069
自己株式	△0	△0
その他の資本の構成要素	△61,495	△35,665
親会社の所有者に帰属する持分合計	781,755	806,237
非支配持分	77,801	85,668
資本合計	859,556	891,906
負債及び資本合計	1,574,251	1,628,175

(2) 要約四半期連結損益計算書

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年3月31日)
	百万円	百万円
売上収益	277,244	269,791
売上原価	△162,776	△158,566
売上総利益	114,468	111,224
販売費及び一般管理費	△94,256	△91,283
持分法による投資損益	17	24
その他の収益	793	530
その他の費用	△1,179	△691
営業利益	19,843	19,804
金融収益	553	201
金融費用	△639	△473
税引前四半期利益	19,757	19,532
法人所得税費用	△4,114	△4,986
四半期利益	15,642	14,546
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	12,726	10,668
非支配持分	2,916	3,877
四半期利益	15,642	14,546
1株当たり四半期利益(円)	41.18	34.53



(3) 要約四半期連結包括利益計算書

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年3月31日)
	百万円	百万円
四半期利益	15,642	14,546
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
金融資産の公正価値の変動	△945	271
確定給付制度の再測定	△61	△245
純損益に振り替えられることのない項目合計	△1,007	26
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	△29,060	29,028
キャッシュ・フロー・ヘッジの公正価値の変動	230	765
持分法投資に係る包括利益の変動	△60	49
純損益に振り替えられる可能性のある項目合計	△28,890	29,842
税引後その他の包括利益	△29,898	29,869
四半期包括利益	△14,255	44,415
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	△14,017	36,498
非支配持分	△237	7,917
四半期包括利益	△14,255	44,415

(4) 要約四半期連結持分変動計算書

前第1四半期連結累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)

親会社の所有者に帰属する持分

	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の 資本の 構成要素	合計	非支配持分	資本合計
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
2020年1月1日	168,384	182,349	464,705	△0	△58,870	756,568	80,997	837,565
四半期利益			12,726			12,726	2,916	15,642
その他の包括利益					△26,743	△26,743	△3,154	△29,898
四半期包括利益合計	—	—	12,726	—	△26,743	△14,017	△237	△14,255
配当金			△12,050			△12,050	△40	△12,091
非支配持分との取引		83				83	△0	83
所有者との取引額合計	—	83	△12,050	—	—	△11,967	△40	△12,008
2020年3月31日	168,384	182,432	465,380	△0	△85,614	730,582	80,718	811,301

当第1四半期連結累計期間(自 2021年1月1日 至 2021年3月31日)

親会社の所有者に帰属する持分

	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の 資本の 構成要素	合計	非支配持分	資本合計
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年1月1日	168,384	182,414	492,451	△0	△61,495	781,755	77,801	859,556
四半期利益			10,668			10,668	3,877	14,546
その他の包括利益					25,829	25,829	4,039	29,869
四半期包括利益合計	—	—	10,668	—	25,829	36,498	7,917	44,415
配当金			△12,050			△12,050	△6	△12,057
非支配持分との取引		35				35	△42	△7
所有者との取引額合計	—	35	△12,050	—	—	△12,015	△49	△12,065
2021年3月31日	168,384	182,450	491,069	△0	△35,665	806,237	85,668	891,906

(5) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年3月31日)
	百万円	百万円
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	19,757	19,532
減価償却費及び償却費	17,816	17,392
減損損失及び減損損失戻入(△は益)	50	—
受取利息及び受取配当金	△286	△103
支払利息	577	444
持分法による投資損益(△は益)	△17	△24
棚卸資産の増減額(△は増加)	△10,546	△5,447
売上債権及びその他の債権の増減額(△は増加)	14,092	10,106
仕入債務及びその他の債務の増減額(△は減少)	△11,402	△5,849
その他	△4,761	6,897
小計	25,280	42,948
利息及び配当金の受取額	215	87
利息の支払額	△873	△212
法人所得税の支払額	△10,382	△8,187
営業活動によるキャッシュ・フロー	14,240	34,636
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産及び無形資産の取得による支出	△16,969	△11,214
有形固定資産及び無形資産の売却による収入	32	59
事業譲受による支出	—	△2,158
その他	353	△256
投資活動によるキャッシュ・フロー	△16,583	△13,570
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金及び商業・ペーパーの増減額 (△は減少)	41,279	17,046
長期借入れによる収入	—	2,203
長期借入金の返済による支出	△32,194	△18,108
リース負債の返済による支出	△3,068	△3,842
配当金の支払額	△12,050	△12,050
非支配持分への配当金の支払額	△708	△360
財務活動によるキャッシュ・フロー	△6,743	△15,111
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△9,087	5,953
現金及び現金同等物の期首残高	143,564	167,480
現金及び現金同等物の為替変動による影響	△4,473	2,953
現金及び現金同等物の四半期末残高	130,004	176,387

- (6) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項  
(継続企業の前提に関する注記)  
該当事項はありません。